

中ノ郷地区公民館だより

9月
長月



No. 365 令和 7 年 9 月 1 日
中ノ郷地区公民館
鳥取市覚寺118 電話 21-5393 FAX 21-5409
<http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/nakago-1/>



中ノ郷地区公民館QRコード

各町内会の公民館配布物受取担当者さんへ
次回「公民館だより10月号」発行日は9月26日予定です。

～9月 行事予定表～

日	曜日	行 事・会 合	教室・サークル
1	月		書道
2	火		生花/絵手紙/健康体操/切り絵
3	水		英会話/コーラス/歌おう会
4	木		ヨーガ/ロコモ体操
5	金		健康マージャン教室
6	土		囲碁同好会
7	日		
8	月	算数教室	
9	火	地ノペーパーデコレーション 民生定例会	健康体操/なかよしサロン
10	水		英会話
11	木		ヨーガ/ロコモ体操
12	金	交通安全協会	健康マージャン教室
13	土		囲碁同好会
14	日	自治会理事会	すっきりヨガ/円護寺吉川会
15	月	敬老の日 第31回 中ノ郷地区敬老会	
16	火		生花/GO!郷!キッズ
17	水		英会話/コーラス/歌おう会
18	木		ヨーガ/ロコモ体操
19	金		健康マージャン教室
20	土		囲碁同好会
21	日	円護寺団地定例会	すっきりヨガ
22	月		書道
23	火	秋分の日	
24	水	ふれあいディサービス	英会話
25	木		ロコモ体操
26	金	公民館だより発行日	健康マージャン教室
27	土	中ノ郷地区防災フェスタ	囲碁同好会
28	日	覚寺口役委員会	すっきりヨガ/チェアdeヨガ
29	月	算数教室	
30	火		健康体操

子/子どもと大人のふれあい事業
特/特色ある公民館活動事業

地/地域の仲間づくり事業

【第31回中ノ郷地区敬老会】

主 催 中ノ郷地区ふるさとづくり協議会

日 時 令和7年9月15日(祝)
11時00分 開式

会 場 砂丘会館



敬老の日



会場までの往復移動手段について

ご自宅の近くまで、バスもしくはタクシーにより
各町内を廻り、送迎します。

※ 健康福祉部会では、昨年のアンケート結果をふまえ
内容の改善に努められておられます。

<地域の仲間づくり事業>

ペーパーデコレーション



ハロウィンの飾りを作って楽しもう♪ カボチャの
ペーパーは因州和紙や海外の紙を使って作ります。
色や柄が選べます。立体のバラの花が可愛いです。

日 時：9月9日(火)13:30～15:00

講 師：岡村 真由美さん(ペーパーデコレーションフタバ)

参加費：材料代 1,000円

※お問い合わせは公民館へTEL：0857(21)5393

公民館より10月の事業の予告

ふるさと教養大楽

『今年の秋は、鳥取県中部で 芸術にふれましょう!!』

2011年に開校された山陰初の弦楽器製作学校
「三朝バイオリン美術館」では展示見学後、音楽ホール
で演奏を聴きます。昼食後、「鳥取県立美術館」常設
展示の鑑賞の予定です。



日 時：10月1日(水) 出発9:30 帰着16:30

受 付：9月1日(月)より

定 員：30人程度 ※詳しくは後日チラシを配布します

【中ノ郷地区防災フェスタ】

主 催：中ノ郷地区自主防災会連絡協議会

日 時 9月27日(土)午前9時30分～
会 場 中ノ郷小学校体育館
同体育館前駐車

南海トラフ地震は、今後30年間に80%の確率で発生
すると言われています。鳥取市でも震度4強程度の長周期
震動が想定されています。今回の防災フェスタでは、地区
の皆さんの地震に対する自助意識の高揚を目的に、鳥取県
の起震車「グラットくん」を呼び、地震の模擬体験を提供
します。自主防災会では、この機会に一度、非常時の炊き
出し訓練も行います。

また、鳥取大学「防災ラボ」による災害時の応急的な
防災グッズづくりや、防災クイズ等を通して地震・風水害
への備えを学ぶ企画も計画しています。

是非、ご参加していただき、自助意識を高め、皆さんの
協働により災害に強い中ノ郷地区を構築していきましょう。



秋の全国交通安全運動

9月21日(日)～9月30日(火)の期間、
「ゆとり持つ 時間に気持ちに 車間距離」をスローガンに秋の全国交通安全運動
が実施されます。

歩行者、自転車、ドライバー、一人ひとりが交通ルールの遵守と正しい交通マナー
の実践し、交通事故の防止に努めましょう。



公民館よりお知らせ

第31回 中ノ郷まつり展示作品募集

《募集内容》 絵画・書道・手芸・陶芸・写真・盆栽など、
※詳細は、中ノ郷ふるさとづくり協議会発行のチラシをご覧ください。

◇開催期間：10月18日(土)・19日(日)

◇会 場：中ノ郷地区公民館 2階 会議室1・2

8月開催された地区活動の様子

<子どもと大人のふれあい事業>

夏休み現地学習

共催：青少年育成中ノ郷地区会議

「鳥取県議会議場・知事公邸 災害対策本部、博物館」

日 時：8月5日（火）8：50～15：40
場 所：鳥取県庁 議場・知事公邸・災害対策本部、
鳥取県立博物館 収蔵庫、昆虫展
参加者：23人 内訳 6年（7人）、5年（4人）、
4年（3人）、3年（5人）、
2年（3人）、1年（1人）
引率支援者：公民館運営委員（高田さん、西尾さん、
小林さん、山中さん、田村さん）

「現地学習会」は、中ノ郷地区の小学生を対象に学習好奇心の育成体験事業として毎年夏休み期間中に実施してきました。

今年度は、小学校の社会科で学習する「地方行政」の拠点である鳥取県庁の県議会の議場と、災害が発生時に『公助』の中心となる災害対策本部の見学を企画しました。また、鳥取県に知事公邸という海外からの賓客との応接・懇談や、叙勲・表彰式の各種式典等に利用される建物を一度見学する機会を子どもたちに設けました。

鳥取県立博物館では、小学生が興味を示す「昆虫展」とバックヤード「収蔵庫」を見学できました。収蔵庫では学術的貴重な物品を今後100年以上保存するために、「総合的有害生物管理」という手法により文化財害虫やカビの発生を防いでいることを学芸員の方から説明を受け、子どもたちは興味深く聞いていました。

なお、今回の移動手段は、路線バスの乗り方の体験も兼ねて、一人一人が回数券をもって路線バスを利用しました。



県議会議場内での記念撮影



知事公邸会議室1から記念撮影



議長席の座り心地は？



災害対策本部を見学

第31回中ノ郷地区納涼まつり

中ノ郷ふるさとづくり協議会主催の地区納涼まつりは、8月2日（土）午後6時から午後9時過ぎまで公民館、中ノ郷小学校校庭にて開催されました。来場者数は609人でした。

飲食・催事コーナーでは、中ノ郷小学校PTAさんとそのOBさんによる「元気丼」を含め、体育会、地子連、各町内会による各種ブースが多くの人で賑わいました。

また校庭では、〇×クイズから始まり、鳥取湖陵高校と鳥取城北高校の各ダンス部によるエネルギッシュなパフォーマンス、チーム中ノ郷による元気に全員が調和した「すすっこ踊り」に続いて、中ノ郷連の「傘踊り」と会場が盛り上がったところで、恒例の打ち上げ花火で終演しました。

参加していただいた皆さま、各町内会、各種団体をはじめとする運営にご協力いただいた皆さま、お疲れさまでした。

今年もボランティアとして地区の中高校生20数人が各催事のお手伝いをさせていただきました。ご苦労様でした。



新刊図書の案内

<いざという時の食事>

中ノ郷地区自主防災会連絡協議会（自主防災会）さんより、以下の図書2冊を寄贈いただきました。

地震災害は、いつ起こるかわかりません。巨大地震が発生すると、ガス・水道・電気といったライフラインが使えなくなり、物資の流通も止まり、普段の生活ができなくなります。

今回の図書2冊は、そのような非常時にどのような対応を取るかについて、「食」という点から参考になります。是非、ご参考にしてください。

・備えいらずの防災レシピ「食」で実践フェーズフリー

著 者 飯田 和子
出版 社 東京法令出版



タイトルの“フェーズフリー”とは、平常時や非常時などのフェーズ（社会の状態）を取り払い、「いつも」と「もしも」の2つの時間を分けることをやめ、普段利用している商品やサービスを災害時に適切に使い、生活の質を確保することを意味しています。

ポリ袋で作れるご飯から、手間いらずで美味しいスイーツまで、おいしくて、簡単なレシピを35品掲載！また、レシピに書かれた食材の代わりになる食材もわかりやすく示されていて、フェーズフリーに基づいた“いつでも、誰でも、楽しく、おいしく、簡単に”できるポイントも満載です。（東京法令出版HPより）

・災害食ハンドブック

〔防災安全協会推奨〕

著 者 奥田 和子
出版 社 日本食糧新聞社



阪神・淡路大震災以降、災害食が注目されるようになり、家庭での備蓄も一般化されてきました。同震災以降は災害食も日々進化を重ねています。

一方、近年、日本各地で発生している地震、台風、豪雨などの災害から身を守ると同時に、さまざまな感染症も防ぐためには、在宅避難という選択肢が有力になることもあります。

本書は、災害時あるいは在宅時に体調を壊すことなく乗り切る「食」にスポットを当て、備蓄すべき食品の種類や量、調理のアイデア、最新の災害食などを紹介しています。

内 容

- 本当に必要な災害時の食
- 「食」で元気を保つ備蓄のコツ
- ライフライン遮断時の調理アイデア
- 実践！災害食サバイバル術

など